

Nisri

(公財) 名古屋産業科学研究所
Nagoya Industrial Science Research Institute

産業科学フォーラム

日時：平成24年7月3日(火) 14時から
場所：名大VBL棟(4階)セミナー室
講演者：松井 徹哉 上席研究員(名大名誉教授)

テーマ：東日本大震災に見た巨大地震津波の実態と今後の備え

2011年3月11日に発生した東日本大震災による巨大津波は東北地方の太平洋沿岸に壊滅的な被害をもたらした。当東海地域においても、東海・東南海・南海3連動地震を想定した津波防災対策への機運が高まってきている。従来、津波対策は主に防波・防潮堤といったハード面のみ頼ってきたが、今回の東日本大震災のような再現期間1,000年程度の巨大津波に対してはそれだけでは防ぎ切れず、避難を含めたハード・ソフト両面での総合対策が不可欠であることが教訓として残された。

本講演では、日本建築学会の調査団の一員として東日本大震災の被災地を訪れ、建築物の津波被災状況の調査に当たった経験をもとに、巨大津波災害の実態をスライド写真やビデオ映像を交えて報告し、今後の地震津波に対するハード・ソフト両面での対策を考える。

*参加いただける方は、事前に下記まで
連絡願います。

公益財団法人 名古屋産業科学研究所
研究部 E-mail: dor@nisri.jp

会場へのアクセス

地下鉄名城線 名古屋大学

3番出口 徒歩3分

[http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/a
ccess-map/higashiyama/](http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/)

